

| | | | | |
|----------------|-----------------------------|--|-----------|--------------------------|
| 学校 教育 目標 | 「明日(あす)を創ろう! みんなが笑顔 夢中になって」 | | | |
| | 知 | : 主体的に考え、意欲的に学び続ける子を育てます | | |
| | 徳 | : 自分を律する態度と人を思いやる優しさをもつ子を育てます | | |
| | 体 | : 体力づくりを通じ、心身ともにたくましく生きる子を育てます | | |
| | 公 開 | : 夢や目標を持ち、よりよい社会を創造しようとする子を育てます : 自分を見つめ、多様性を尊重し、共生する子を育てます | | |
| 学校 概要 | 創立 57 周年 | 学校長 三橋 弘康 | 副校長 小嶋 一喜 | 2 学期制 一般学級: 13 個別支援学級: 3 |
| | 児童生徒数: 393 人 | 主な関係校: 万騎が原中学校 南本宿小学校 二俣川小学校 | | |

| | | |
|--|---|--|
| <p>教育課程全体で 育成を目指す資質・能力</p> <p>●万騎が原中ブロック:「自分づくり」 人や社会との関わりの中で育まれる</p> <p>●万騎が原小らしさ:「問題解決力」 個や集団の中で育まれる</p> | <p>〇〇中 ブロック</p> <p>万騎が原中 さが丘小 二俣川小 南本宿小 万騎が原小 の1中4小</p> | <p>小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組</p> <p>主体的に行動し、自ら学び、互いに高め合うことのできる子ども</p> <p>〇年3回の小中交流会 ローテーションによる授業参観 テーマを決めて部会ごとの研究研修 〇児童生徒交流日 6年児童参加 授業参観・部活見学 〇その他の交流(職業体験・運動会のボランティア・音楽交流会)</p> |
|--|---|--|

| |
|--|
| <p>中期 取組 目標</p> <p>「笑顔あふれる万騎が原の学校・まちづくり」</p> <p>〇夢中になって物事に取り組むことができるようになります 〇主体的に課題を解決する力を身につけることができますようにします 〇相手を思いやるやさしい心を育みます 〇まちとかかわりまちを愛する心を育てます</p> |
|--|

| 重点取組分野 | | 具体的取組 |
|--------|-----------------|---|
| 知 | 生きてはたらく知 | <ul style="list-style-type: none"> 〇日々の生活と関連付けながら学習活動を展開し、子ども一人ひとりが興味・関心を持ち、主体的に学ぶことができるようにする。 〇体験的な活動を取り入れたり、学習形態を工夫したりして、協働的に学ぶことができるようにする。 〇子どもの「見通し」と「ふり返り」を重視した授業づくりを行う。 |
| 担当 | 研究・研修 | |
| 徳 | 豊かな心 | <ul style="list-style-type: none"> 〇道徳科の学習を通して道徳的価値を学び、特別活動や総合的な学習の時間、日常の学校生活で実践することができるようにする。 〇たてわり活動での異学年との関わりや稲作活動などの本物体験を通して、多様な人々と関わり、人と関わることのよさを味わうことができるようにする。 |
| 担当 | 特活・総合・道徳 | |
| 体 | 健やかな心と体 | <ul style="list-style-type: none"> 〇子ども一人ひとりが「できた」「楽しかった」という経験を積み重ねられるように授業づくりを工夫し、実践する。 〇体力テストのデータの分析結果を踏まえ、体力向上を目指した活動に取り組むようにする。 〇あいさつの大切さを伝えたり、あいさつをする子ども一人ひとりの姿を価値付けたりすることを通して、進んであいさつをすることで人とつながる心を育み、気持ちのよい学校生活を送ることができるようにする。 |
| 担当 | 体育・保健 | |
| 公・開 | 児童指導 | <ul style="list-style-type: none"> 〇児童支援専任を中心に教職員全員が密に連携を図り、子どもの成長やよさをみとり、全教職員で子どもに向き合っていく。 〇職員会議や打ち合わせの際に、児童に関する情報共有の場を設け、個に応じた指導ができるようにする。 〇子どもに関わることは全教職員で情報を共有するとともに、それに対する指導、支援について情報を蓄積していく。 〇保護者、地域と連携を図り、児童理解を深める。 |
| 担当 | 児童指導 | |
| | いじめへの対応 | <ul style="list-style-type: none"> 〇教職員と子どもの面談やアンケート等を定期的に行ったり、様々な教職員が関わったりすることで、児童の実態把握に努める。 〇教職員の情報交換により、早期発見・早期解決に努める。 〇児童指導委員会、いじめ防止対策委員会で情報交換、対策の協議を行い、必要に応じて臨時の委員会を開き迅速な対応をする。 〇全ての教育活動を通していじめを許さない風土を作る。 〇職員研修を行い、学んだことを指導に活かす。 |
| 担当 | 児童指導 | |
| | 人材育成・組織運営(働き方) | <ul style="list-style-type: none"> 〇人権教育や特別支援教育、また授業力を高めるための研修を行っていく。 〇ICT等を使つての情報交換を積極的に行っていく。 〇日頃から学校運営について振り返り、誰もが積極的に参画できる雰囲気づくりに努め、より効率的な環境や組織について職員全体で考えていく。 〇教職員一人ひとりが誰にでも相談できる同僚性のある風土づくりに努める。 |
| 担当 | 教務 | |
| | 特別支援教育 | <ul style="list-style-type: none"> 〇教職員間での情報交換の場を設け、必要な個別の支援について理解し、学校全体で子どもの特別支援を行うことができる体制を整える。 〇スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、専門相談機関と連携し、個に応じた支援計画を作成するとともに、保護者とも共有しながら支援にあたる。 |
| 担当 | 特別支援 | |
| | 学校運営協議会 地域連携 | <ul style="list-style-type: none"> 〇地域や保護者とともに万騎が原小学校の子どもや教職員の目指す姿を共有し、学校教育目標の実現に向けて連携を図り、教育活動を推進する。 〇授業参観や教育水田の活動、スポーツフェスティバルなどの取組を地域・保護者に公開し、よりよい教育活動の推進を図る。 |
| 担当 | 教務 | |
| | 学級づくり 授業づくり | <ul style="list-style-type: none"> 〇友達の考えを認め合ったり、自分や友達のよさに気付いたりしていけるような授業づくりを通して、一人ひとりが安心して学校生活を過ごすことができる風土を育む。 〇全教職員が授業づくりが学級づくりにつながることを意識して、学年・ブロック研を中心に、子どもの姿を共有しながら授業研究の充実を図る。 〇専科教諭による授業や担任による教科分担を行い、多様な目で子どもの姿をみとる。 〇研究や研修を通して教師一人ひとりの授業力を高め、授業改善に努める。 |
| 担当 | 研究・研修 | |